

2025 年 8 月 7 日

OpenWork「働きがい研究所」調査レポート vol. 136

現職社員による「会社を辞めない」理由レポート

— まだ辞めていないけど、葛藤中。年収別の「辞めない理由」も分析 —



終身雇用制度が終焉を迎えつつある現在、転職活動は身近な選択肢となり「会社を辞める」ことはもはや特別なことではありません。最近では退職代行サービスや、職場環境は良好でも成長環境がない、いわゆる「ゆるブラック企業」の若手離職が話題になるなど、退職を決意した人に関するニュースは働く多くの人々にとって身近な関心事と言えるでしょう。一方で、退職を検討しながらも踏みとどまる理由にはどのようなものがあるのでしょうか。

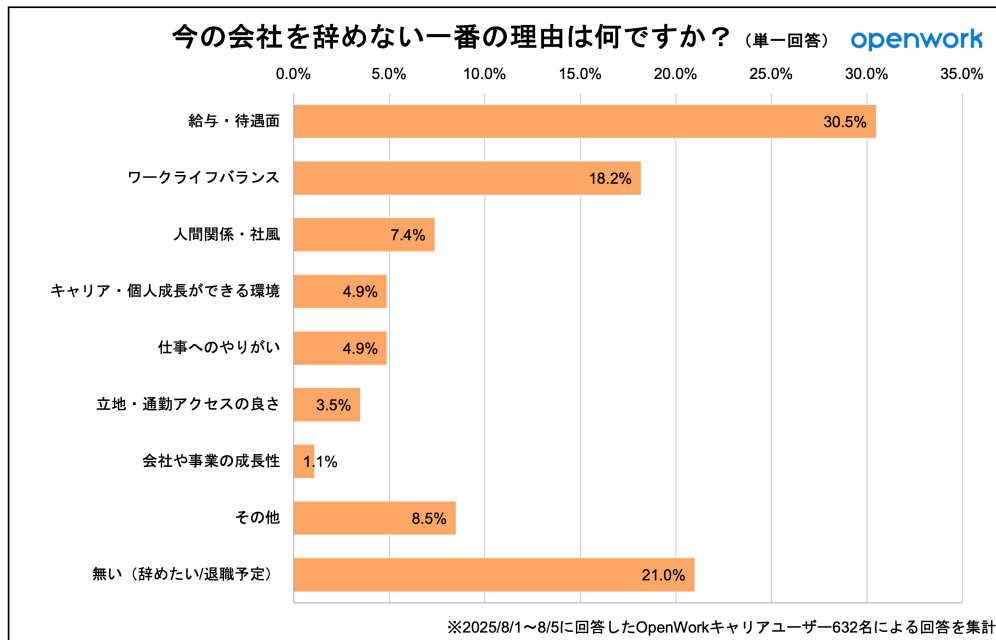
今回の調査レポートでは、「今の会社を辞めない理由」に関するユーザーアンケート結果を用いて、現職で働き続けている人たちのリアルな声を多角的に分析していきます。また、OpenWork に投稿された「退職検討理由」項目のクチコミの頻出単語を、現職社員と退職済社員それぞれ分けてワードクラウドで可視化、両者の違いを見ていきます。

【サマリ】

- 今の会社を辞めない理由も、退職を検討する理由も、1 位は「給与・待遇面」
- 「給与・待遇面」を理由に今の会社を辞めないと回答した層は、「年収 800～1199 万円」グループが最多
- 「年収 400～799 万円」グループでは「給与・待遇面」よりも「ワークライフバランス」を理由に今の会社を辞めないと回答した層が若干多い結果
- 現職社員は待遇への不満・経営への不安を上げる声、退職済社員は会社制度や人間関係への不信の声が表出
- 自社の「退職検討理由」に目を向け、辞めない理由を増やす努力をしていくことが、社員定着の鍵か

※詳細は以下または「働きがい研究所」にてご確認ください。 <https://hatarakigai.openwork.jp/>

■ 今の会社を辞めない理由も、退職を検討する理由も「給与・待遇面」が1位



「個人」のキャリア情報をオープンにするコミュニティサービス「OpenWork キャリア」のユーザーに対し、今の会社を辞めない一番の理由をアンケート形式で調査しました。最多は「給与・待遇面」、続いて、「ワークライフバランス」、「人間関係・社風」という結果になりました。回答者を年収別で見た際、年収 800～1199 万円のグループが「給与・待遇面」を一番の理由としてあげる比率が 41%と高く、年収 400～799 万円のグループでは「給与・待遇面」よりも「ワークライフバランス」の良さが若干上回る結果となりました。

【年収別】今の会社を辞めない一番の理由は何ですか？（単一回答） openwork

	～399万円	400～799万円	800～1199万円	1200万円～
給与・待遇面	22.7%	17.8%	41.0%	39.5%
ワークライフバランス	9.1%	19.3%	23.3%	7.6%
仕事へのやりがい	4.5%	5.7%	3.1%	6.7%
会社や事業の成長性	0.0%	1.5%	0.4%	1.7%
人間関係・社風	9.1%	8.3%	6.2%	7.6%
キャリア・個人成長ができる環境	0.0%	5.3%	1.8%	10.9%
立地・通勤アクセスの良さ	4.5%	3.8%	4.8%	0.0%
その他	4.5%	8.7%	6.2%	13.4%
無い（辞めたい/退職予定）	45.6%	29.6%	13.2%	12.6%

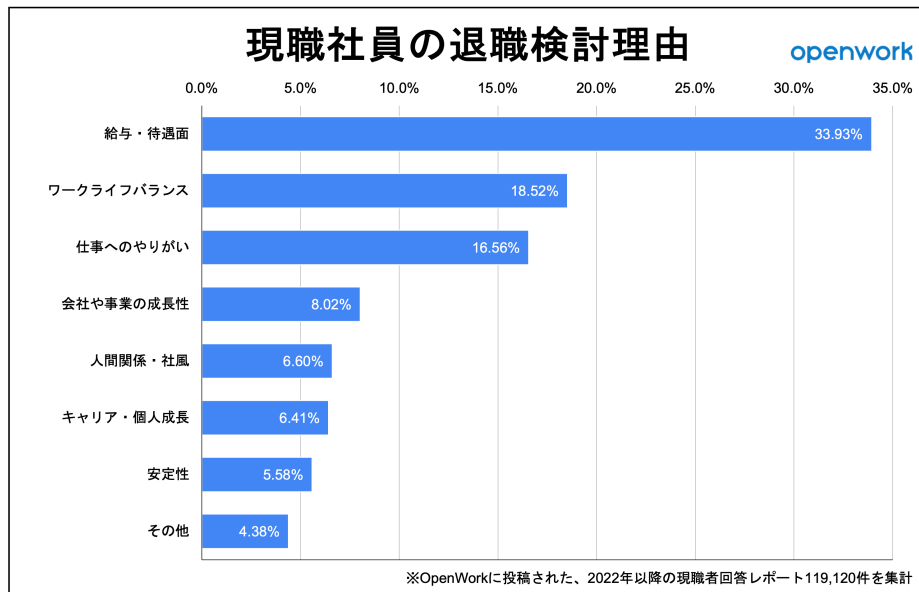
※2025/8/1～8/5に回答したOpenWorkキャリアユーザー632名による回答を集計

OpenWork キャリアに投稿された、「今の会社を辞めない一番の理由」

（給与・待遇面に投票）「役職が付いてない職位でも同年代の上位 10%程度の収入があり、不当な残業も無い。チームのビジネスモデルや働き方に疑問があれば社内異動すれば解決するケースも多く、特段転職をする理由が無い。（30 代男性、年収 970 万円）」

（ワークライフバランスに投票）「時間休・有休・リモートが取り放題(当日申請でも OK)だから。子育て中なので、学校関係（行事・面談・PTA）・各種送迎・病氣・配偶者出張等の対応をしながらフルタイムで働くには、今はこの環境でないと無理。（40 代女性、年収 500 万円）」

以下のデータは、現職社員がOpenWorkに投稿した「退職検討理由」のクチコミ投稿内容を理由別で分類したものです。現職社員が考える「退職検討理由」でも「給与・待遇面」に関する内容が一番多く投稿されていることがわかりました。

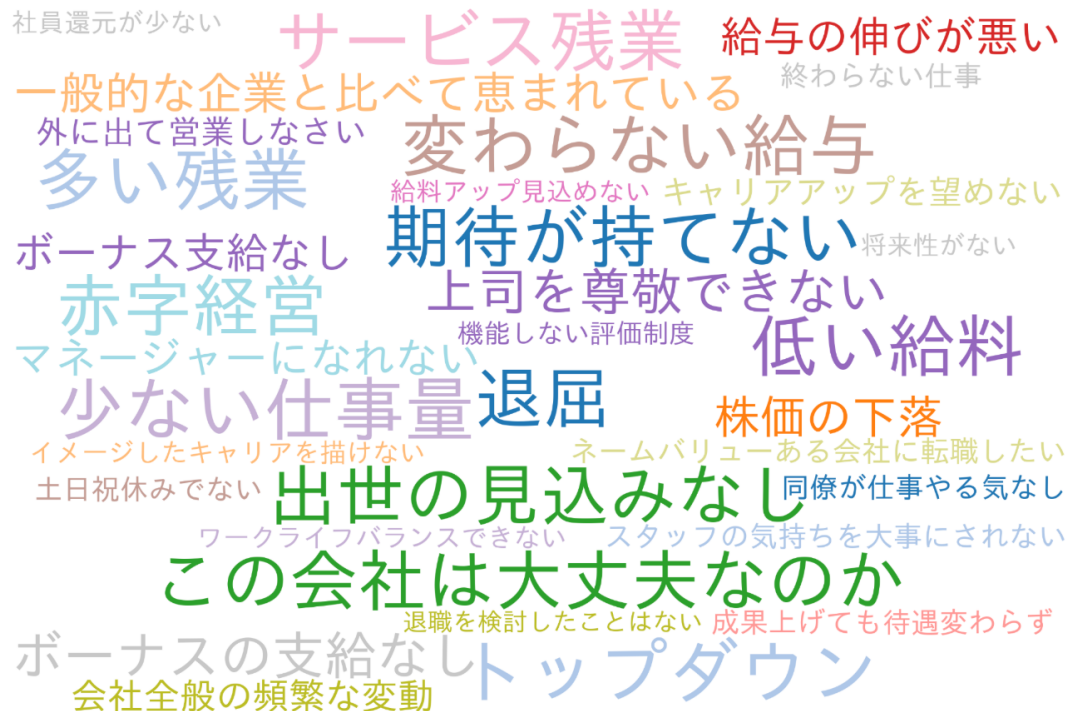


働く人々にとって給与・待遇は、今の会社を辞めない理由にもなり、退職を見据える理由にもなる、極めて重要な要素であることがうかがえます。

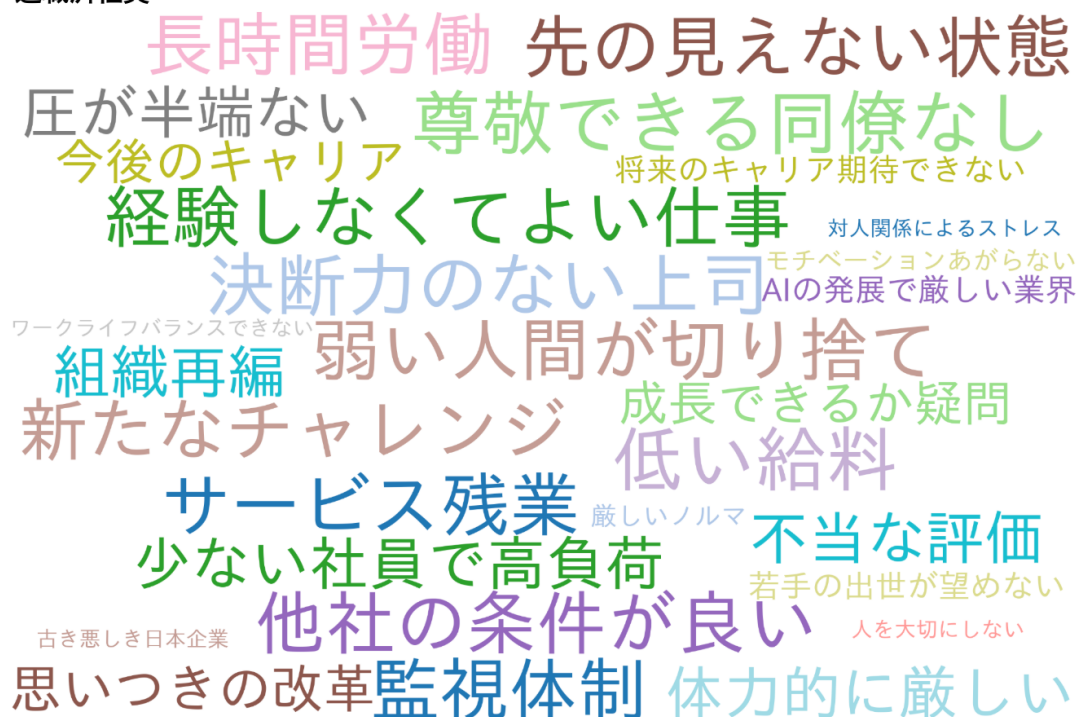
■「退職検討理由」項目の頻出単語を比較分析

2022 年以降に OpenWork の「退職検討理由」欄に投稿されたクチコミの頻出単語を現職社員・退職済社員それぞれワーククラウドで可視化しました。頻出回数が多いほど、大きい文字で表現されます。(色は視認性向上のためのものです)

現職社員



退職済社員



➤ 現職社員は、待遇面の不満・会社経営への不安が表出

現職社員のワーククラウドでは給料の低さや成果を上げて変わらない等の待遇に関する不満が散見されました。退職済社員のワーククラウドでも「低い給料」に関する単語は登場したものの、具体的な不満内容は現職社員の方が多く挙げている様子です。一方で、「他の企業と比べ恵まれている」や「仕事量の少なさ」といった単語も登場し、現職に踏みとどまっている様子も垣間見られました。

➤ 退職済社員は、会社組織や人間関係への不信が表出

退職済社員のワーククラウドでは、「弱い人間が切り捨て（られる）」「尊敬できる同僚がいない」「決断力のない上司」「経験しなくてよい仕事」「監視体制」といった、会社組織・人間関係に対する不信感をあげる声が目立ちました。また、「AI の発展で厳しい業界（になる）」「他社の条件が良い」と、退職を決断するに足る理由を持って離職した様子もうかがえました。

OpenWork「退職検討理由」に投稿された、現職社員の「不満・不安」

「給与がとにかく低い。また、新卒の給料は年々上がっているのに対し、ベースアップがないため新卒と給料があまり変わらない点も不満。（エンジニア、現職、システム開発）」

「ベンチャー企業で働く上で覚悟していなければいけないことだとは思いますが、やはり給与面など将来への不安が消えないことが一番の理由でした。（研究職、現職、繊維）」

「業務量に見合った給料ではないと感じている。いつまで経っても変わらない社風、いくら変えていこうとしても経営側の意識が変わっていないように見受けられる。（特定職、現職、銀行）」

OpenWork「退職検討理由」に投稿された、退職済社員の「不信」

「明らかに人を大事にしていない。会社の財務状況も赤字で、人件費を真っ先に削るために中途から新卒にシフト、中途は辞めて欲しい雰囲気が出てきたので退職。（営業、退職済み、人材サービス）」

■ まとめ ～退職検討理由から考える、社員定着のヒント～

今回のレポートでは、「給与・待遇面」が離職を検討する理由と、辞めない理由の双方でトップに挙がりました。これは、待遇の満足度が社員にとって極めて重要であり、給与が人材を引きつける大きな要因であることを示しています。

その上で、現職者と退職者のワーククラウドを比較すると、現職者の待遇面・会社経営への「不安・不満」に関する声が、退職者では会社組織や人間関係への「不信」に関する声が見られました。不安・不満の段階で“リアルな声”に目を向けることは、組織課題の発見や、離職防止のヒントを得る上で非常に重要です。待遇面への納得感を確保しつつ、社員の声に耳を傾け、働きがいやキャリア成長、組織風土・人間関係の良さといった、多様な「辞めない理由」を一つでも増やす努力をすることが、社員定着の鍵ではないでしょうか。

【対象データ】

・ アンケート質問

「個人」のキャリア情報をオープンにするコミュニティサービス「OpenWork キャリア」にて実施、2025/8/1～8/5に回答した 632 人データを集計。

・ 現職社員の「退職検討理由」

OpenWork 上の「退職検討理由」欄に現職ステータスのユーザーから投稿されたクチコミ 119, 120 件を集計。

・ ワードクラウド

2022 年以降に OpenWork に投稿された会社評価レポートを対象。「経営者への提言」の投稿で使用された、頻出度合いが高い単語を大きい文字で出力したもの。現職者回答数：119, 120 件・退職者回答数：175, 111 件。色は視認性向上のためのものです。

【OpenWork 働きがい研究所について】

オープンワーク株式会社が、働きがいの向上のために、個人・企業・社会などの視点から働きがいについて調査・リサーチを行うためのプロジェクトです。2014 年 3 月よりスタートしました。

【OpenWork について】

OpenWork（オープンワーク）では、実際に働いた経験に基づく「社員・元社員の声」を共有しています。企業の社員・元社員から情報を収集している WEB サイトとしては、国内最大規模のクチコミ数と評価スコア約 1, 970 万件が蓄積されており、会員数は約 748 万人（2025 年 7 月時点）となっています。私たちは、企業の労働環境をよりオープンにしジョブマーケットの透明性を高めることで、健全な雇用環境の発展に貢献するとともに、企業と個人のより良いマッチングをサポートし、一人ひとりが自分らしく生きることを応援したいと考えています。<https://www.openwork.jp/>

【オープンワーク株式会社 会社概要】

商号：オープンワーク株式会社

代表者：代表取締役社長 大澤 陽樹

所在地：東京都渋谷区渋谷 2-24-12 渋谷スクランブルスクエア 39 階

事業内容：転職・就職のための情報プラットフォーム「OpenWork」の開発・運用業務を含むワーキングデータプラットフォーム事業

資本金：1, 649 百万円

上場市場：東証グロース市場（証券コード 5139）

【本件に関するお問合せ先】

press@openwork.co.jp / 大塚（070-7774-1889）

画像ダウンロード：

<https://drive.google.com/drive/folders/1-QINwDRgzpAXtpNGPAE8ByXa8R3NVbHp?usp=sharing>